

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 11月 1日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	UC派遣プログラム	派遣先大学:	UC Davis
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

デービスはサンフランシスコから車で2時間の小さな大学都市。治安も全米でトップクラスに良いので安心して留学生活を送るには最高の街だと思います。キャンパスは広くて移動には自転車必須です。

留学した動機

元々グローバルに活躍できるキャリアを歩みたいと思っていたがそのためには英語力の向上と豊富な海外経験が必要だと考えていた。そんな中東大のプログラムでUCSDに短期留学した時、米国大学特有のアカデミックで多様性に富んだ雰囲気魅了され留学へ気持ちが傾いたため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	休学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	6月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部3	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部3	年生の	9月頃に	行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			46	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			34	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年			ヶ月間	
⑨留学時期を決めた理由:					

UC派遣プログラムは2017年の9月に対して学内応募締切が同年4月と遅くUCSD訪問以降最も早く留学することが可能だった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

学内選考通過後にデータベース側からパケットが来るのでそれに従って準備を進めました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

十分に余裕を持って準備を進めるといいと思います。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特になし

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大指定の保険に入りました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

ゼミの演習分割申請

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

アメリカで年齢確認などをする際Photo IDが必須なのですが、パスポートを持ち歩くのは危ないので、国際学生証を作っておくといいと思います！あと国際免許証も忘れずに！

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
International Macroeconomics	4		Financial Management	4	
Intro to Cultural Anthoropology	5		Capital Markets	4	
Econometrics	4				
Gateway to Datascience	4				
Elementary Statistics	4				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

文化人類学の授業が非常にチャレンジングだった。思ったより大教室での授業が多かった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1クォーターあたり12-13単位までしか取れないのですがちょうどいい分量だと思います。

④学習・研究面でのアドバイス

特になし。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

やはり最初の3ヶ月ほどは聞き取りに苦労しましたが、徐々に慣れてくるとspeakingもlisteningも成長を実感できると思います！

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舍の様子、見つけた方法など)

West Villageという綺麗なアパートに入居しました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

現地で口座(Chase Bank)を開設して日本から国際送金で送ってもらいました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は非常に良いです。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

- ・家賃/寮費(光熱費含む): 8万 円
- ・食費: 2万円
- ・娯楽費(旅行等含む): 2万円
- ・その他(教科書代・保険代等): 0.5万 円

・留学に要した費用総額とその内訳

上記+渡航費150K

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSO月額8万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ビジネスサークルやテコンドークラブに入ったり、パーティーに積極的に顔を出すなどいろんなことにチャレンジしました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

特にお世話になることはありませんでした。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

大学町ということもあってキャンパスが広大です。移動には自転車が必須です。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

ポストンキャリアフォーラムで内定をいくつかいただきました。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

やはり長期留学のメリットや意義は実際に長期間“異国の地に根をおろすこと”だと思う。確かに短期留学でも海外文化や英語を十分体感できる。しかしそれは異文化体験のワクワクと同時にある種の“お祭り気分”の高揚感を必然的に伴う。飲み会での話が聞きとれなくて萎えたり、パーティーでの周りのハッチャケ具合にビビったり、アメリカ入国するまで自分の住居が決まらず焦ったり、サークルのケースコンペティションでうまくいわずに凹んだり、ルームメイトとガチで喧嘩して仲直りする、と言った“旅行”以上の体感は“異国に根をおろす”からこそではないかなと思う。学生のうちに“異国文化を全身で体感し自らの文化を相対化する”という体験は、必ず将来の自分の助けとなるだろうと信じている。

②留学後の予定

学生団体での活動と就職活動

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

UC派遣はいいプログラムです。ぜひチャレンジして下さい！

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

昨年度データベースに留学している先輩に連絡を取ってお話を聞きました。